

国の文化審議会が新たに登録有形文化財に登録するよう
答申した建造物について

平成31年3月18日(月)に開催された国の文化審議会において、県内では新たに18件の建造物を登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申されました。

○登録有形文化財(建造物)の登録 18件・・・・・・・・・・・・・・・・資料

富田酒造 主屋	(長浜市)	1件
ダイコウ醤油 主屋	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社本殿	(東近江市)	1件
太郎坊宮阿賀神社参拝所	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社舞台	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社授与所	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社拝殿	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社神楽殿	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社永安殿	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社長楽殿	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社祭器庫	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社手水舎	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社銅鳥居	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社絵馬殿	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社不動明王拝所	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社中門	(")	1件
太郎坊宮阿賀神社一の鳥居	(")	1件
旧近江銀行愛知川支店	(愛荘町)	1件

○登録有形文化財（建造物）に新たに登録される建造物の概要

文化財保護課

富田酒造 主屋（1件）

名称	富田酒造 主屋 [トミタシュヅウシユヅカ]
員数	1棟
所在地	滋賀県長浜市木之本町木之本1107
建築年代	延享元年（1744年）／天保3年（1832年）増築、 江戸末期・昭和24年（1949年）頃改修
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造2階建、瓦葺、建築面積270㎡
特徴・評価	富田酒造は北国街道の宿場である旧木之本宿に所在する造り酒屋で、室町後期の創業と伝わる老舗です。主屋は街道に東面する ^{きりつまづくり} 切妻造の2階建てで、大屋根前面を2段に重ね左端は1段高さを下げた ^{おちむね} 落棟としています。内部は通り土間と床上部分の8部屋で構成され、規模の大きな町家です。建築年代は所蔵文書により、 ^{えんきょうがんねん} 延享元年（1744年）と考えられ、 ^{てんぽう} 天保3年（1832年）には増築が行われています。2段の大屋根は江戸末期の改造と考えられ、左端の ^{おちむね} 落棟は昭和24年（1949年）頃に改造しています。幾重にも重なる屋根が特徴的な大型町家で、旧木之本宿の町なみの景観を今日に伝える建造物として重要です。



1 富田酒造主屋 外観



2 富田酒造主屋 内部

ダイコウ醤油 主屋（1件）

名称	ダイコウ醤油 主屋 [ダイコウショウユ ショウク]
員数	1棟
所在地	滋賀県長浜市木之本町木之本字八木屋町1137他
建築年代	江戸末期／明治中期増築・改修
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造2階建、瓦葺、建築面積114㎡
特徴・評価	<p>ダイコウ醤油は旧木之本宿南端で醸造業を営む商家で、嘉永5年(1852年)の創業です。主屋は、街道に東面して建つ切妻造の2階建てで、正面は1、2階とも格子戸を入れ、2階両端には袖壁<small>そでかべ</small>を設けて装飾しています。内部は通り土間と床上部分の6部屋で構成されています。建築年代は創業時の嘉永5年(1852年)頃と推定され、明治中期に増築し、現状の姿になったと考えられます。旧木之本宿の町なみの景観を今日に伝える建造物として重要です。</p>



1 ダイコウ醤油 外観



2 ダイコウ醤油 内部

太郎坊宮阿賀神社本殿ほか 14 件（15 件）

所在地	滋賀県東近江市小脇町2247他
名称	太郎坊宮阿賀神社本殿 [タロウホウウケウアガジンジヤホンテン]
建築年代	宝暦3年(1753年)／大正13年(1924年)改修
登録基準	2 造形の規範となっているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、銅板葺、建築面積3.6㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社参拝所 [タロウホウウケウアガジンジヤサンハイシヨ]
建築年代	大正13年(1924年)
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、銅板葺、建築面積45㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社舞台 [タロウホウウケウアガジンジヤブタイ]
建築年代	明治13年(1880年)／昭和23年(1948年)改修
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造、面積31㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社授与所 [タロウホウウケウアガジンジヤジュヨシヨ]
建築年代	明治中期
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、銅板葺、建築面積2.9㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社拝殿 [タロウホウウケウアガジンジヤハイトン]
建築年代	江戸末期
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、銅板葺、建築面積24㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社神楽殿 [タロウホウウケウアガジンジヤカクラテン]
建築年代	明治中期
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、銅板葺、建築面積21㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社永安殿 [タロウホウウケウアガジンジヤエイアンテン]
建築年代	明治40年(1907年)
登録基準	2 造形の規範となっているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造2階建、銅板葺、建築面積43㎡
名称	太郎坊宮阿賀神社長楽殿 [タロウホウウケウアガジンジヤチョウラクテン]
建築年代	昭和5年(1930年)
登録基準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造及び鉄筋コンクリート造、平屋地下室1階建、瓦葺及び銅板葺、 建築面積154㎡、階段棟付

名 称	太郎坊宮阿賀神社祭器庫 [タロウボウグウアガジンジヤサイキョ]
建 築 年 代	昭和13年(1938年)
登 録 基 準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積38㎡
名 称	太郎坊宮阿賀神社手水舎 [タロウボウグウアガジンジヤテミスシヤ]
建 築 年 代	明治44年(1911年)
登 録 基 準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造、銅板葺、面積5.0㎡
名 称	太郎坊宮阿賀神社銅鳥居 [タロウボウグウアガジンジヤトウトリイ]
建 築 年 代	昭和32年(1957年)
登 録 基 準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造、間口1.8m
名 称	太郎坊宮阿賀神社絵馬殿 [タロウボウグウアガジンジヤエマテン]
建 築 年 代	大正14年(1925年)
登 録 基 準	2 造形の規範となっているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積55㎡
名 称	太郎坊宮阿賀神社不動明王拝所 [タロウボウグウアガジンジヤフトウミョウオウハイショ]
建 築 年 代	昭和5年(1930年)
登 録 基 準	3 再現することが容易でないもの
構造及び形式並びに大きさ	石造、面積4.9㎡
名 称	太郎坊宮阿賀神社中門 [タロウボウグウアガジンジヤチュウモン]
建 築 年 代	昭和9年(1934年)
登 録 基 準	3 再現することが容易でないもの
構造及び形式並びに大きさ	石造、面積8.6㎡
名 称	太郎坊宮阿賀神社一の鳥居 [タロウボウグウアガジンジヤイチトリイ]
建 築 年 代	明治27年(1894年)
登 録 基 準	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	石造、間口5.4m
特 徴・評 価	<p>太郎坊宮阿賀神社は正式名称を阿賀神社といい、東近江市西方の赤神山の中腹に所在する磐境信仰で知られる神社です。「太郎坊さん」の名で親しまれていますが、太郎坊とは神社を守護する天狗の名前と伝わり、神社の建設の時に山奥から現れて手助けしたといわれています。そのため太郎坊天狗が守る神社として「太郎坊宮」の名称が定着したと考えられています。麓の鳥居から赤神山の中腹の本殿にかけて、多くの建造物が急な斜面に建ち並んでいます。</p> <p>本殿は、阿賀神社で最古の建造物で、彫刻で外観を華やかに飾り、前面に建つ参拝所と一体となって屋根をかけた複雑な屋根形式となっています。参拝所の一段下には懸造り</p>

の舞台と岩壁に食い込むようにして建つ授与所^{じゅよしよ}があります。

さらに下段には四方吹き放しの拝殿、拝殿背面には神楽殿^{かぐらでん}や、神楽演奏所兼社務所である2階建ての永安殿^{えいあんでん}があり、社頭景観の中核を構成しています。

永安殿南側の崖下に建つ長楽殿^{ちやうらくでん}は、永安殿との高低差を活かして階段棟を附属した神社では珍しい建築です。

さらに、長楽殿に対面する土蔵造りの祭器庫^{さいきこ}、永安殿東にある手水舎^{てみずしや}が境内景観に変化を添えています。なお、拝殿から本殿に通じる参道には、本殿への入口を示す銅鳥居が建っています。

さらに下段へ降りると絵馬殿^{えまでん}、絵馬殿西の不動明王拝所^{ふどうみやうおうはいしよ}、中門^{ちゆうもん}が並び、参道入口には一の鳥居が建っています。いずれも良材を用いた質の高い建造物で価値が高く、麓から山の中腹の斜面に建物が建ち並ぶ独特の社頭景観を形成しています。



1 太郎坊宮阿賀神社 境内外観



2 太郎坊宮阿賀神社 本殿



3 太郎坊宮阿賀神社 参拝所外観



4 太郎坊宮阿賀神社 舞台外観



5 太郎坊宮阿賀神社 授与所外観



6 太郎坊宮阿賀神社 拝殿外観



7 太郎坊宮阿賀神社 神楽殿内部



8 太郎坊宮阿賀神社 永安殿外観



9 太郎坊宮阿賀神社 長楽殿外観



10 太郎坊宮阿賀神社 祭器庫外観



11 太郎坊宮阿賀神社 手水舎外観



12 太郎坊宮阿賀神社 銅鳥居



13 太郎坊宮阿賀神社 絵馬殿外観



14 太郎坊宮阿賀神社 不動明王拜所



15 太郎坊宮阿賀神社 中門



16 太郎坊宮阿賀神社 一の鳥居

旧近江銀行愛知川支店（1件）

名称	旧近江銀行愛知川支店 [キョウカミギンコウエチカ`リテン]
員数	1棟
所在地	滋賀県愛知郡愛荘町愛知川38-2
建築年代	大正15年（1926年）頃／平成30年（2018年）改修
登録基準	2 造形の規範となっているもの
構造及び形式並びに大きさ	鉄筋コンクリート造平屋建一部2階建、陸屋根、建築面積161㎡
特徴・評価	<p>旧近江銀行愛知川支店は、中山道の旧愛知川宿中心部に大正15年（1926年）頃に建てられた銀行建築です。鉄筋コンクリート造平屋建で、内部は天井の高い一室となっており、背面には二階建の金庫棟が接続しています。設計者は不詳ですが、外観の中央部を柱で区切り装飾を集中させる意匠は、当時の関西圏で見られた新しい手法を取り入れたものとなっています。また、県内の鉄筋コンクリート造の建造物としては初期のものであります。</p> <p>本建築は意匠、構造共に20世紀初めの関西の先進的な建築をよく表し、地域の近代化を象徴する存在として評価されました。しかし、銀行として利用された期間は短く、銀行の閉店後は長らく工場等として使われましたが、現在は愛荘町が公有化し平成30年（2018年）に改修工事が行われ観光交流施設として活用されています。</p>



1 旧近江銀行愛知川支店 外観



2 旧近江銀行愛知川支店 内部